**この報告書は令和7年度入学生用です。**

2025/3/10

令和7年度新入生による全学共通授業科目（英語）の既修得単位認定にかかる「状況報告書」の提出について

神戸大学大学教育推進機構外国語第Ⅰ教育部会

神戸大学の英語教育の目標は、学術英語（アカデミックイングリッシュ）の習得であり、この目的に沿い、①英語を用いた国際的な学術研究の重要性に対する理解を深め、②「複眼的に思考する能力」および「多様性と地球的課題を理解する能力」を伸ばし、③読む力・書く力および聞く力・話す力を中心として、学術場面で要求される英語の諸技能の綜合的な運用能力を向上させることが目指されます。

１年次に開講される英語科目では「グローバル社会の主要な共通言語（リンガ・フランカ）となっている英語について、その運用能力を向上させるとともに、学術英語運用力も高めることを目標」としており、「Academic English Literacy A1, A2, B1, B2」（略称AEL）では、「読む・書くに重点を置きながら 4 技能を統合した指導を行い、学術研究で要求される学術英語の基礎を総合的に養成」し、「Academic English Communication A1, A2, B1, B2」（略称AEC）では、「聞く・話すに重点を置きながら 4 技能を統合した指導を行い、学術研究で要求される学術英語の基礎を総合的に養成」することとなっています。

AELおよびAECの英語レベルに関して、本学では、1年次においてはTOEICで630～705点、TOEFLで52点から61点が目安として示されています。また、学内の学生が、1年次の後期科目の単位授与を申請するためには、入学直後の時点で、TOEICで800点以上、TOEFLで83点以上、IELTSで6.0以上、または英検1級の取得を要求しています。

他大学等において過去に修得した英語科目の単位を、本学の設置科目（以下、本学科目）の単位とみなすにあたっては、両科目が、科目趣旨や学習目的、授業内で扱う言語スキルタイプ、また、英語レベルの各観点において同等でなければなりません。

英語科目の既修得単位認定希望者は過去に修得した英語科目のシラバスに加え、シラバスの補足資料として、別紙の「状況報告書」の提出が必要です。前期配当のAEL（A1, A2）とＡＥＣ（A1, A2）、後期配当のAEL（B1, B2）、AEC（B1, B2）の4科目のうち、2つ以上の科目に申請を出そうとする場合は、１科目につき１枚ずつ、状況報告書の提出が必要となります。既修得単位認定審査は、シラバスと「状況報告書」の両方に基づいて行いますので、「状況報告書」の提出がない場合、審査対象外となりますのでご注意ください。

|  |
| --- |
| 【注意】　本学では、1年次後期に、選抜制のAccelerated Course in English（ACEコース）を設置しています。このコースは、通常のAELとAECの両科目を特別編成して実施します。したがって、後期開講のAEL・AECのいずれかまたは両方について既修得単位認定が認められた場合、自動的にACEコースへの申請資格を失います。 |

英語系科目既修得単位認定にかかる状況報告書（1科目につき1通ずつ作成・提出）

|  |  |
| --- | --- |
| 報告項目 | 回答（以下に記入を願います） |
| 1. 氏名 |  |
| 2. 入学した学部・学科 |  |
| 3. 本学学籍番号 |  |
| 4. 単位認定を希望する修得済み科目名 |  |
| 5. 単位認定を希望する本学科目名 |  |
| 6. 単位修得済み科目の開講大学等の名 |  |
| 7. 単位修得済み科目の配当学年と、授業時間数 | （記入例：２年生前期／週1回、90分） |
| 8. 単位習得済み科目の教科書名 | （記入例：『Power Presentation』（ABC出版）＋プリント教材） |
| 9. 単位修得済み科目において、「英語を用いた国際的な学術研究の重要性に対する理解を深める」ためにどのような指導があったか、詳細を記述ください。 |  |
| 10. 単位修得済み科目において、「複眼的に思考する能力」および「多様性と地球的課題を理解する能力」の育成のためにどのような指導があったか、詳細を記述ください。 |  |
| 11. AELの認定申請の場合は「読む・書く」、AECの認定申請の場合は「聞く・話す」の技能についてどのような指導がどの程度あったか、詳細を記述ください。 |  |
| 12. 単位修得済み科目に英語レベルの目安が設定されていた場合は記述ください。 | （記入例：TOEIC700点レベル、CEFR B1レベルなど）。 |
| 13. 英語習熟度テストの受験経験がある場合は、テスト種別・スコア・受験年月を記述ください | （記入例：　TOEFL、40点、2019年6月）　※後日、証明書の提出を求める場合があります。 |

※上記の各質問項目につき、該当しない場合や不明の場合は「非該当」「不明」のように記載ください。提出した内容に事実に反するものがあった場合、事後に遡って認定を取り消すとともに、その事実を学部に通告しますので、誤りのないよう記載願います。